

令和2年度 鹿屋市市政モニター 第3回アンケート集計

○テーマ：鹿屋市に残る戦争の歴史の認知度について

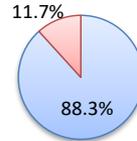
○調査期間：令和2年8月7日（金）～令和2年8月31日（月）

○回収結果：送付数：200人（市内173人、市外27人）、回答数 154人、回答率 77.0%

平和への興味関心について

Q1 鹿屋市の戦争の歴史や平和について、興味はありますか。

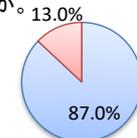
回答	件数	割合
①はい	136	88.3%
②いいえ	18	11.7%
合計	154	100.0%



■①はい ■②いいえ

Q2 鹿屋航空基地史料館（鹿屋市西原3丁目）を訪れたことがありますか。

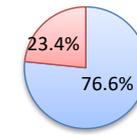
回答	件数	割合
①はい	134	87.0%
②いいえ	20	13.0%
合計	154	100%



■①はい ■②いいえ

Q3 市内に残る戦争遺跡等を訪れたことがありますか。

回答	件数	割合
①はい	118	76.6%
②いいえ	36	23.4%
合計	154	100.0%

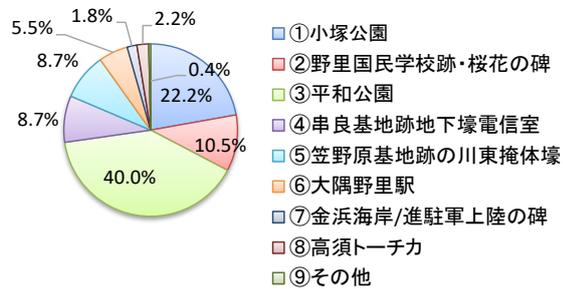


■①はい ■②いいえ

Q3-① また、それはどこですか。

回答	件数	割合
①小塚公園	61	22.2%
②野里国民学校跡・桜花の碑	29	10.5%
③平和公園	110	40.0%
④串良基地跡地下壕電信室	24	8.7%
⑤笠野原基地跡の川東掩体壕	24	8.7%
⑥大隅野里駅	15	5.5%
⑦金浜海岸/進駐軍上陸の碑	5	1.8%
⑧高須トーチカ	6	2.2%
⑨その他	1	0.4%
合計	275	100.0%

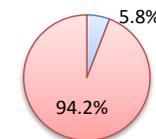
【その他】
・鹿屋基地付近にある大きな防空壕



■①小塚公園
■②野里国民学校跡・桜花の碑
■③平和公園
■④串良基地跡地下壕電信室
■⑤笠野原基地跡の川東掩体壕
■⑥大隅野里駅
■⑦金浜海岸/進駐軍上陸の碑
■⑧高須トーチカ
■⑨その他

Q4 鹿屋平和学習ガイドによる戦跡案内を利用したことがありますか。

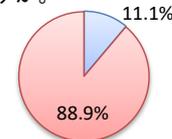
回答	件数	割合
①はい	9	5.8%
②いいえ	145	94.2%
合計	154	100.0%



■①はい ■②いいえ

Q5 大隅半島に残されている戦跡（鹿屋市以外）を訪れたことがありますか。

回答	件数	割合
①はい	17	11.1%
②いいえ	136	88.9%
合計	153	100.0%

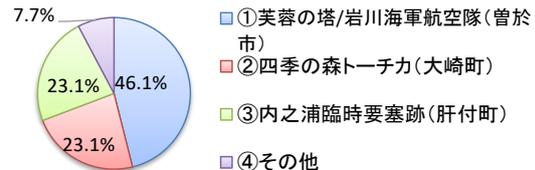


■①はい ■②いいえ

Q5-① また、それはどこですか。

回答	件数	割合
①芙蓉の塔/岩川海軍航空隊（曾於市）	6	46.1%
②四季の森トーチカ（大崎町）	3	23.1%
③内之浦臨時要塞跡（肝付町）	3	23.1%
④その他	1	7.7%
合計	13	100.0%

【その他】
・不明



■①芙蓉の塔/岩川海軍航空隊（曾於市）
■②四季の森トーチカ（大崎町）
■③内之浦臨時要塞跡（肝付町）
■④その他

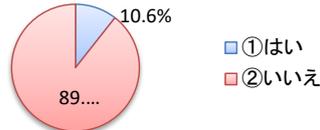
Q6 広島、長崎、沖縄、知覧 等の平和関連施設を訪れたことがありますか。また、直近ではいつ頃どこを訪れましたか。

回答	件数	割合
①はい	142	94.0%
②いいえ	9	6.0%
合計	151	100.0%



Q7-① 姫路市を観光、平和学習等で訪れたことがありますか。

回答	件数	割合
①はい	16	10.6%
②いいえ	135	89.4%
合計	151	100.0%



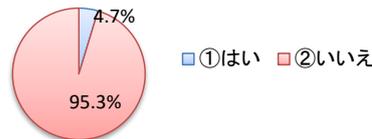
Q7-② 加西市を観光、平和学習等で訪れたことがありますか。

回答	件数	割合
①はい	1	0.7%
②いいえ	148	99.3%
合計	149	100.0%



Q7-③ 宇佐市を観光、平和学習等で訪れたことがありますか。

回答	件数	割合
①はい	7	4.7%
②いいえ	143	95.3%
合計	150	100.0%



鹿屋市の戦争の知識について

Q8 鹿屋市は、鹿屋基地、串良基地、笠野原基地と3つの基地があったことを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	84	54.5%
②いいえ	70	45.5%
合計	154	100.0%



Q9 鹿屋市からは、日本で一番多くの1,271名が特攻隊として出撃し、若く尊い命を失ったことを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	93	60.4%
②いいえ	61	39.6%
合計	154	100.0%



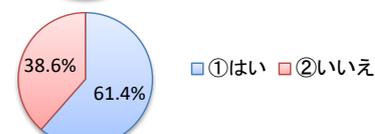
Q10 真珠湾攻撃作戦は、鹿屋基地で考えられたもので、「鹿屋会談」と呼ばれていることを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	35	22.7%
②いいえ	119	77.3%
合計	154	100.0%



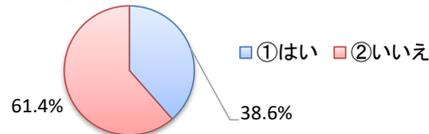
Q11 人間爆弾「桜花」のことを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	94	61.4%
②いいえ	59	38.6%
合計	153	100.0%



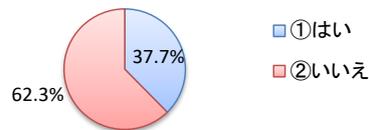
Q12 第5航空艦隊が編成され司令部が鹿屋に設置されたことを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	59	38.6%
②いいえ	94	61.4%
合計	153	100.0%



Q13 1945年3月18日は、米軍が初めて鹿屋市に空襲を行った日であることを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	58	37.7%
②いいえ	96	62.3%
合計	154	100.0%



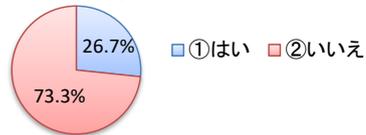
Q14 高須町の金浜海岸に進駐軍アメリカ海兵隊約2,500人が上陸したことを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	43	27.9%
②いいえ	111	72.1%
合計	154	100.0%



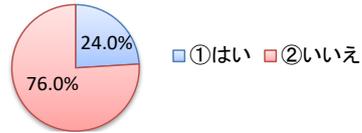
Q15 「どっ菜市场」は、笠野原基地があった場所に整備されたことを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	40	26.7%
②いいえ	110	73.3%
合計	150	100.0%



Q16 「二式大型飛行艇」は、現存する唯一の機体で世界に一機しかないことを知っていましたか。

回答	件数	割合
①はい	37	24.0%
②いいえ	117	76.0%
合計	154	100.0%



鹿屋市の施策について

Q17 戦争当時の様子を体験、伝聞し教えていただける方をご存じではありませんか。

回答	件数	割合
①はい	4	2.7%
②いいえ	146	97.3%
合計	150	100.0%



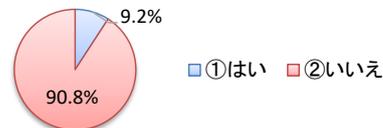
Q18 戦争当時や戦後間もないころの品物を譲っていただける方、お貸しいただける方をご存じではありませんか。

回答	件数	割合
①はい	2	1.3%
②いいえ	150	98.7%
合計	152	100.0%



Q19 戦争関連のイベントや、講演会等に参加したことがありますか。また、それはどんなイベントでしたか。

回答	件数	割合
①はい	14	9.2%
②いいえ	139	90.8%
合計	153	100.0%



Q20 現在、鹿屋市内の小中学校では平和学習を行っています。学生以外の一般の方が平和について興味を持ち、史料館や戦争遺跡を訪れていただくには、どのようなもの（こと）があれば、良いと思いますか。 【自由記述】

自由意見

【戦跡を生かした誘致に対するご意見】

Q20 現在、鹿屋市内の小中学校では平和学習を行っています。学生以外の一般の方が平和について興味を持ち、史料館や戦争遺跡を訪れていただくには、どのようなもの（こと）があれば、良いと思いますか。

SNSでの誘致
小中学校での映画、講演など学習の場で行うなど命の重さや尊さを教える事になると思います
戦争を伝える映画の上映が企画されると良いと思います。
PTAでのツアーとか
メディアの影響力はかなり大きいと思うので、映画やドラマでなくとも鹿屋の現存する戦跡を巡る、紹介する番組などがあると、また再認識できるし、知らない事を新たに発見するいい機会にもなると思います。今回の設問の中で新たに知ることができた内容がいくつもありました。後々に残す為にも色々と考えなければと思いました。
小中学校の平和学習の時に保護者も一緒に参加できるようにすると一般の方もたくさん参加し興味を持ってもらえると思います。
10代、20代の若い世代の方々とその祖父母のペアで参加するツアーがあったらよいと思います。亡くなった私の祖父、今になってもっと戦争体験について話を聞いておけばよかったと後悔しています。こういうツアーがあれば話を聞くきっかけになるのではないかと思います。
戦争は怖い暗いイメージ。写真も白黒で別世界のように感じる。今の技術でカラー写真になるともっと近くの存在になりそう。（なぜか昔のこととってしまう。） 二度と戦争は起こしてはいけない！が体験ツアーなどまずはイベント（戦争の事だけでは行きづらい為）の中で興味が向かないと関心にもつながらないと思う。
鹿屋市が特攻隊出撃日本一だと知っている人は多くないと思う。鹿児島県の戦争史料館で思い当たるのはやはり知覧が有名です。 鹿屋ももっとPR・史料館の改修をしてアピールできればよいと思います。
戦跡体験ツアー、映画、TVの誘致
数多くの尊い命の犠牲の上に今の平和がある事を自覚し二度と戦争があってはならないこと。先人達の敷いて下さったレールを踏みはずす事のないよう日本人一人ひとりが肝に命じておくべきと考えます。
私の祖父は実際に戦争に行った兵士でした。 祖父から小さい頃に聞いた話ですが、アメリカの軍人さんからチョコレートをもらい、優しい人も多かったとのこと。軍服も最近まで保管していましたが処分してしまいました。 今、生きていたら104歳ほどでしょうか。90歳で亡くなりましたがもう少し話を聞いていたらと思います。他にも私のような子孫がいるかもしれないので積極的に情報収集してみたいと思います。
ガイドによる案内、戦跡体験ツアー等。 鹿屋に引っ越して来てすぐ史料館に行きました。そして県外からの帰省客があると、連れて行っていました。 入館無料だし、とてもいい所だと思うのですが、1回行けばいいかなと。宣伝不足。
ガイドによる案内や戦争跡地の整備等を行い、歴史を忘れないように語り継いでいく。
ガイドによる案内
映画・TVへの誘致
ガイドによる案内
「鹿屋平和学習ガイド」（例えば）でSNSアカウントを作り、情報を発信する。興味のある人はフォローし、シェアすると思います。既出の12/8、2/10、3/18などに合わせて発信があると人々の目にふれるのでは。
今日まで戦跡体験ツアーなどに出席しておりませんが、今後は参加してみたいと思っています。 リナシティの映画は良く見ていましたが、コロナによって全然行かなくなりました。 戦争関連映画でもあればまたみたいです。
当時の状況が再現されたテレビドラマ化されたら、必ず見ます。

映画、TVの誘致により、広く認知してもらおうべき、知らないことが多すぎると思う。
TV番組の取材
映画、YouTube、サイクリング
<ul style="list-style-type: none"> ・語り部 ・ガイドによる案内 ・戦跡体験ツアー
ホームページ等で資料館や戦争遺跡を観れるようにすれば、皆さんの足が向くのではないか。
ガイドによる案内があると、より詳しく、分かりやすく説明していただけるので興味を持てると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・史料館、戦争遺跡の充実。 ・観光による承知
語り部、戦跡体験ツアー
<p>特攻隊といえば知覧だと思っていましたが、いつの頃から鹿屋のほうが出撃の人数が多い事を知りとても驚きました。</p> <p>多くの人に知っていただくにはやはり、映画、TVの誘致は良い方法だと思います。</p> <p>10年位前、真珠湾の資料館92歳の車イスの父と私、長男、二男と4人で行きました。</p> <p>チケット売場ですぐに日本人のスタッフを呼んでくださり丁寧に解説を受けました。</p> <p>まわりにはほとんど日本人は見受けませんでした。車イスから芝生に腰を下ろした父が青い空を見上げて「良が時代になったネ」と言ったのが今でも印象に残っています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・戦跡体験ツアーを親子で参加出来ると良いと思います。 ・夏休みなどに子連れや育成会などの方に1つの活動として案内を出すなど・・・
映画・TVの誘致など観光メイン
ガイドによる案内
<p>映画、TV</p> <p>私は鹿屋の出身ではないのでこちらでどのような平和学習がされているか分かりませんが、福岡では多くの平和学習があり、長崎や広島に近いこともあり家族と出かけることも多くありました。</p> <p>家族で参加できるような催しがあるといいんじゃないかと思っています。</p>
イベントの時に周知をする等
映画・TVの誘致
人数は参加できる人だけに限られますが、戦跡体験ツアーに参加する児童・生徒には忘れえぬ記憶になると思います。
SNSや市報での紹介など
<ul style="list-style-type: none"> ・戦争遺跡の整備 ・映画、TVの上映会 ・ガイド案内、語り部教育 <p>ガイドブック作成、又はパンフレット（全世帯へ配布）</p>
40代の自分達もなかなか訪れたいと思う事が正直ないです。子供達の夏休みの宿題で触れる事はありますが。一般の方が興味を持ってもらうには、例えば、お子さんが行かなければならないイベントを企画し、それにどうしても親が付いていかなければならないという事をしてみたり、スタンプラリーとかその場所に行き、写真をとり、インスタに投稿してすべての場所をのせたら景品がもらえるとか。
まさに今回のアンケートを読んで鹿屋市の戦争の歴史を知りました。一問一問が事実に基づいた驚くべき内容ですごく勉強になりました。このアンケートをたたき台にして〇×クイズなり懸賞付きイベントやクイズ大会をしてTVや雑誌で紹介してもらえばいいと思います。すごく今回のアンケート良かったです。
子供が興味を持った所は親も興味をもつようになるのではないかと思います。学校またはクラス単位でレクレーションのような感じでツアーなどのようなものがあれば行ってみたいなどと思いました。（小学生の親です）
語り部

戦跡のポイントごとに、スマホでVR戦跡体験ができるQRを設置
語り部ガイドによる案内（学習センターや各サロンなどで） 戦跡体験ツアー
航空史料館が鹿屋にある事の周知
<ul style="list-style-type: none"> ・例としてあげているもの、どれも大事なことであったほうがと思います。 ・平和ガイドの皆さんの戦争への怒り嘆き・・・深い思いをもっと強く深く語ってほしい。単なる案内だけでなく（平和外交不足ぎみの現政権への要求などかたてほしい）
<ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市のホームページや広報で戦争についての案内 ・平和学習に限らず鹿屋にも住んでいても知らないことなど、ガイドツアーがあれば子供と参加してみたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・語り部 ・写真展示など
子供達が喜びそうなイベントをやると良いと思います。 飛行機が多く有るのを利用して、自衛隊のパイロット他、色々な方々と写真を撮れる様なイベントはどうでしょうか。
若い世代の方などネット社会なので、ネットでのイベント等配信したり、戦争に関する映像を流したりするのがよいのでは。鹿屋の広報誌、ビックウェブなど、若い方もみているので載せるとよいのではと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・大々的な告知 ・興味をひかれる講師・イベント ・鹿屋市独自の教育カリキュラムとして、小中学校の教育活動に組み入れる。 ◎魅力ある鹿屋の町づくり、がんばってください。
戦跡体験ツアー
興味を持つきっかけとしてTVの誘致は良いと思います。 以前ガイドの方から祖母の戦争体験の伝聞をお願いされました。連絡をお待ちしていましたが祖母は他界しました。残された時間はわずかです。気張ってください。
ガイドによる案内があれば参加してみたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持っていただくために県内企業向けの戦跡体験ツアーで身近に感じてもらえるのではと思います。 ・ウェブサイト等の充実（行きたくなるような情報）
TVの誘致、PR
海外との交流 ユネスコ登録
鹿児島島出身じゃないのでよくわからなかった。
質問に対しての答えではありませんが、学生時代に戦争の悲惨さを知った時、受け入れることができず、実際におこったことだと理解するのに時間がかかりました。 また、戦争の事を学び目をそむけるわけわけではありませんが、これ以上知りたくないとも思う事もありました。
終戦8月15日を含め、広島、長崎の日を印象付けるためにいろんなパンフレット等で日本にとって重要な日の位置づけを1ヶ月位前から行えばよいと思う。
ガイドによる案内
町内会や高齢者学級等、各種団体の研修の一部に抱き合わせて実施されるとその機会も増えるのでは。
中学の修学旅行は長崎で、大人になってからも長崎、広島と原爆については学びましたが、地元のことについては父母から少し聞いたくらいで、ほとんど知りません。 戦後生まれですので、新聞や本等で見聞きしただけです。 今の子供たちは、学ぶ選択肢もたくさんあるので勉強してほしいと思います。
輝北まつり等での展示、紹介など
戦争経験者の話（実話）等
映画、TV

<p>地元の人が地元の事を知らない。 子供達が平和学習を行っているのであれば各家庭で子供たちが語り部になって親と一緒に史料館、戦争遺跡を廻るようになってはどうか。</p>
<p>広報誌で定期的に（例えば年1回位）戦跡体験ツアーなどの募集をかければ興味を示す人がいるのでは。 私も行ってみたいと思う。</p>
<p>語り部の育成に戦争遺跡の整備をして「広報かのや」に掲載されていた事がありました。それらをまとめた小冊子を作成して訪れた方々に配布したらどうでしょうか。</p>
<p>子供が小学生なので、その子と一緒に参加できるものがあれば参加してみたい。</p>
<p>人が訪れる為の戦争遺跡の整備が必要だと思いますが、遺跡場所が分かる地図作成とその場所を訪れる流れを明記する必要があると思います。</p>
<p>年々戦争を体験した人達が少なくなってきて、戦争の悲惨さを語り継ぐ機会が少なくなってきているのではと思います。学校だけでなく家庭や地域など身近なところで戦時中の話や戦後の復興に向けて皆が苦労した話など話して聞かせるべきではないかと思えます。 戦争を始めた理由はなんであれ、人が人を殺し、家族や財産を無くす戦争はやってはいけないことです。核戦争になれば地球は壊滅的な打撃を被り、被爆による苦しみを繰り返すこととなります。世界中の国が戦争への道は歩まないでほしいものです。</p>
<p>日帰りツアー</p>
<p>身近なおじいちゃん、おばあちゃん、90歳位の方たちでしょうか…語り部に伝えてもらう ガイドによる案内も必要 映画、TV 史料館の場所をアピール、コマーシャル。</p>
<p>母方の曾祖父が戦前、高隈山の山守りをしており、その時飛行機が墜落し、幸い兵士は生きており、しばらく看病をしたと。元気になり又「下に降りる」といい、「ここで終戦をまちなさい」と言ったが突然居なくなっていた…という話を聞いていた。生前曾祖父はその兵士がどうなったか心配していた。</p>
<p>語り部</p>
<p>パンフレットなどで遺跡などを紹介し公共施設などに取りやすい場所に配布しておく。</p>
<p>施設のアピール、整備</p>
<p>パンフレット作成で周知を図れば興味を持つ方々が増えるのでは。</p>
<p>防空壕があれば探検。 洞窟みたいに入り組んでいたら子供たちが興味を持ち、大人も関心を示すかもしれない。 戦争体験旅行はトラウマになりました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・戦争体験者の声を収録、VTR等の配布、配信 ・戦争遺跡の整備
<p>すでにあるのかもしれないけど、戦跡や平和学習のガイド等の冊子がほしい。 各家庭に配布してみてもいいだろうか。 鹿屋市民になって20年経つけど、大人になってからは学習する機会がほとんどない。</p>
<p>語り部 戦争を体験した方からの話が一番心にひびくと思う。</p>
<p>戦争に関わる当時の写真展を行い大きくPRを図る。</p>
<p>全国的に知覧が有名で何故日本で一番多くの若い方が特攻に向かった鹿屋が知られていないのでしょうか。 映画かTVの誘致に力を入れ戦争の歴史を国民に広げられれば良いと思います。 インターネットを有効に活用して欲しいです。 今回の”問”についてネット上に質問と答えを公開してもよいと思います。</p>
<p>知覧の基地とのツアーを組んだら良いのではないか。</p>
<p>ガイドツアー等</p>
<p>前回のような映画・TVの誘致が一番だと思います。</p>

映画やTV

他自治体との連携をはかり、いろいろな団体への（職場や集落他）ツアーの宣伝等をしたり、いい映画の誘致は老若男女興味を持って頂けるのではないのでしょうか。

「西郷どん」で出てきた場所など、TVで見ると行きたくなるものでした。宣伝効果は大きいと思います。

★今回のアンケートで多くの事を知りました。改めて平和を考える良い機会になりました。ありがとうございました。

今後も映画等で放送し続けるべきだと思います。

有名人を交えたイベント

戦争の歴史について興味はありますが、知らないことばかりです。鹿屋で生まれ育ったのに申し訳ないほどに残念です。

現在、コロナ禍にありますが、いつか落ち着いて戦跡ツアーなどありましたら、是非参加してみたいです。

もっともっと鹿屋市に関する戦争についての情報を強く発信していく必要があると思います。今回のアンケートで初めて知ることも多く、このようなアンケートや情報を鹿屋市民が目につくところに掲示する（市のホームページ、市報、かのやライフ）方法もあるかと思っています。

知るきっかけがあれば、自ずと、資料館へ向かい、資料館での掲示物の見方も変わってくると思います。

ガイドによる案内イベント

基本的にはガイドによる案内、戦跡体験ツアーまたは体験者の語り部が良いかと思いますが、それ以前に鹿屋が戦争においてどのような位置付け、被害を受けたのか、市民の中に情報が正しく伝わっていないと思いますので、正しく紹介する施設または展示会等が必要だと思います。

また、今回の市政モニターで初めて知ったことも多く、また鹿屋航空基地資料館も複数回見学させていただきましたが、知覧があまりにも有名で、特攻で亡くなった方が鹿屋が一番多いことも理解できない面もあります。

広報に力を入れたほうが良いと思う。

YouTubeなどの動画配信サービスで史料館や戦跡を紹介したり鹿屋市内のカラオケ店などで選曲中に紹介動画を流すなどでもよいかもしれません。

問8～16の内容を動画にまとめるだけでも興味がわく方はいると思いますので、訪れてみようと思う動機になればよいのでは。

語り部の方からのお話を聞いたことがありませんが、長崎・広島では多くの子供たちが語り部の方からお話を聞いていると聞きます。語り部の方がいらっしゃればと思います。

ここに記載頂いたような内容をクイズにして、知らないことを認知するようにすると興味が沸いてもっともっと詳しいことが知りたいと思うのではないかと思います。

私も実際知らないことだらけだということを知って、もっと詳しく知りたいと思いました。

後は、こういうことについて詳しく知りたい場合は「ここに行けば詳しい資料があります」といった情報がわかるものを鹿屋市のWEBサイトに掲載すると市外、県外の人達も興味を持って認知があがってゆくのではと思いました。

映画、TVの誘致

「鹿屋会談」の舞台となった「鹿屋航空基地」内の応接室。親しくさせていただいている大学教授に歴史的な価値が高い建築だとお伺いして、取り壊される前に「ぜひ一度、拝見したい！」と願っておりましたが、残念ながら叶いませんでした。（母から「そんなに興味があるなら自衛隊OBの方々を紹介するわよ」とも言われたのですが、お手数をおかけするのも申し訳ない気がして…遠慮してしまいました。）

ときに、当時お仕事で鹿屋の方々とお会いする機会があり、会食の席などで「鹿屋会談の応接室には歴史的な価値があること、もうすぐ取り壊されること」などをお話したのですが…、あまり皆さまご存知ない様子でした。

そのような経験を通して私がご提案したいのは、まずは鹿屋市民の方々、お一人お一人にご関心やご理解を深めていただくことです。企業のインナーブランディングに近いかも知れません。

また、別の切口と結び合わせることも重要かと思えます。鹿屋で生まれ育った私は「戦争や平和」といったテーマに関心が強いことを自覚しておりますが、世の中には無関心な方、さらにはアレルギーのある方もいらっしゃいます。「建築から読み解く戦史」「航空と平和」「私のアオハルは戦中だった」など、異なる切り口から焦点を当てることで、興味や関心の入口を拓けるとともに、自発的に“自分ごと”として考えるきっかけにもつながるのではと考えます。

映画、TVの誘致→「永遠のゼロ」の効果絶大

鹿屋航空基地資料館は知覧の施設より展示等優れている。知名度が無いだけ。

※知覧は武家屋敷もあり、鹿児島市にも近いので、鹿屋市は地理的に不利がある。

※日本人は人間の闇の部分を嫌う傾向があり、たとえば自分の老いの想像とか、過去の戦争とか目を背ける傾向がある。

※よって、地道に「小中学校の平和学習」を続けるとともに、地道に映画・TVの誘致、他にも、報道や小説家等に戦争の記録を積極的に紹介していく方がよいと思われます。

自分が子供の頃は平和教育には力を入れていなかったと思う。

やはり戦争の悲惨さ平和の尊さを後世に伝えるためにも、もっと平和教育に力を入れるべきだと思う。

鹿屋には戦争に遺跡はたくさんあるがそこを訪れる機会は個人で意識しないとなかなか足が向かないと思う、子供の頃にどれだけ平和について考えたか、教育を受けたかが、将来の平和行動に大きな影響を与えるのは間違いないと思う。

いま平和に興味を持っていない人が多いのは平和教育に力を入れずに過ごしてきた結果なのだと思う。